

加古川労音創立30周年記念12・1月例会
第23回加古川第九公演

歌
い
続
け
よ
う

愛と平和のシンフォニー

L.V.ベートーヴェン作曲
「コリオラン」序曲

L.V.ベートーヴェン作曲
交響曲 第9番「合唱付」

指揮 藤岡幸夫
管弦楽 関西フィルハーモニー管弦楽団
合唱 2009加古川第九合唱団

合唱指導／川邊甲子郎 練習ピアニスト／河岸 毅

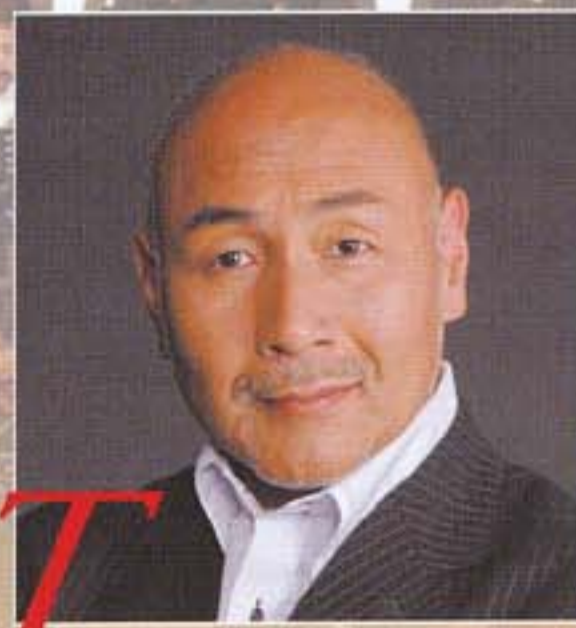
第九



S 藤野敬子



Ms 向井順子



T 山本裕之



B 井上敏典

12月19日(土) 午後3時開演
加古川市民会館大ホール

会費
入会金含む

●1階 指定席
一般 4,500円
高校生以下 3,500円

●1階 当日指定席
一般 3,500円
高校生以下 2,500円

●2階 自由席
一般 3,000円
高校生以下 1,000円

★当日指定席は席を選べません。良い席をご希望の方は指定席を!

後援／加古川市・高砂市教育委員会・播磨町教育委員会・稲美町教育委員会
加古川音楽家協会・加古川市合唱連盟・加古川市青少年団体連絡協議会・BAN-BANテレビ

お申込み・お問合せは 加古川労音

Tel 079-423-9640 Fax 079-423-9656
E-mail: ka_rouon.maia.eonet.ne.jp

藤岡幸夫

1962年東京生まれ。幼少よりピアノ、チェロを学ぶ。指揮法を故渡邊暁雄、小林研一郎、松尾葉子に師事。サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。

慶応義塾大学文学部卒。英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒。日本フィル指揮研究員を経て90年に渡英。92年マンチェスターにて最も才能ある若手指揮者に贈られる「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を日本人にもかかわらず特例で受賞。同年ルトスワフスキ・フェスティバルにて作曲者の前で「管弦楽のための協奏曲」を指揮、英ガーディアン紙に「計りしれなく将来を約束された指揮者」と絶賛される。

95年より2000年までマンチェスター室内管弦楽団首席指揮者。95年に日本フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会で日本デビュー、同年に指揮者に就任、2003年2月まで務める。2000年より関西フィルハーモニー管弦楽団正指揮者を務め、その後2007年4月より同管弦楽団の首席指揮者に就任し、「Meet the classic」や「ザッヒャーの遺産」シリーズなど斬新な企画で新風を巻き起こしている。英シャンドスと契約、これまでにBBCフィルとCDを7枚リリース。2002年度渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。

プロフィール

関西フィルハーモニー管弦楽団

1970年ヴィエール室内合奏団として発足。1982年1月関西フィルハーモニー管弦楽団と改称、2003年10月よりNPO法人として新発足。関西を代表するオーケストラの一つとして、文化・社会への貢献を目指して積極的に活動を続けている。2000年より新鋭・藤岡幸夫が正指揮者に就任、2001年より近年ますます円熟味を深める飯守泰次郎が常任指揮者に就任。飯守は、楽団創立30周年記念企画「ベートーヴェン交響曲・協奏曲チクルス」や「ブラームスと国民楽派シリーズ」「ドイツオペラシリーズ」で、古典からロマン派を中心に精神性あふれる質の高い演奏で好評を博している。藤岡は、「Meet the Classic」や地方公演においてクラシック音楽ファンの裾野を広げるとともに、古典派から現代作品の初演まで幅広く取り組んでいる。2007年4月には首席指揮者に就任した。

人間の営みから生まれた音楽…「ヒューマニズム」をテーマに、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開するとともに、地域密着を重視。地元練習場で「コミュニティーコンサート」などで聴衆との交流を図り、関西出身の若手アーティストを積極的に起用している。また近年、邦人作品にも意欲的に取組み各界より注目を集めている。活動に明確なビジョンを持ち、常に新しいことに挑戦する個性派オーケストラとしてますます好評を博している。

●ソプラノ 藤野敬子

S

県立加古川西高等学校を経て、武庫川女子大学音楽学部声楽学科卒業。同大学専攻科修了。

東京読売、兵庫県、武庫川、各新人演奏会をはじめ、「第九」やミサ曲のソロ、また文化交流使節団としてドイツにて「日本の夕べ」に出演するなどの他、各種演奏会に多数出演。1988年加古川シティオペラを結成。制作と共に、歌劇「電話」「フィガロの結婚」「魔笛」「ヘンゼルとグレーテル」「こうもり」「カルメン」「アマールと三人の王様」などで主演。1992年には女声デュエット「トゥレ・アマール」を結成し、童謡唱歌などのプログラムで、活躍の場を老人福祉施設などに広げている。2003年には「トゥレ・アマール結成10周年記念 チャリティコンサート」、2008年加古川労音主催によるソロリサイタルに出演。2009年には「トゥレ・アマール チャリティコンサート vol.2」を開催。

関西二期会正会員、神戸音楽家協会会員。加古川市文化連盟理事。加古川音楽家協会理事。加古川シティオペラ副代表。

●テノール 山本裕之

T

大阪音楽大学音楽部声学科卒業。第11回イタリア声楽コンクール金賞受賞。関西歌劇団、神戸アーバンオペラハウス等において、数々のオペラの主役を務め、優れた音楽性とリリックな歌唱で常に高評を得ている。「第九」、「メサイヤ」等のテノールソロとしても活躍中。また、テノール・リサイタルを、宝塚ベガ・ホール(1985年)、アメリカのCannonbeach City Hall(1994年)、神戸文化ホール(1995年)、イタリアのZubiaco City Hall(2005年)、神戸松方ホール(2009年)等で開催し、各地で高い評価を得ている。

1983年より1984年までミュンヘン留学。1994年7月、ポーランド、キャンピーチでのオペラハウス演奏に出演。

1996年4月、CD「La Voce ai Suo cuore」を発売。1997年より1998年まで神戸親和女子大学在外研究員としてイタリア・ミラノで研鑽を積む。1999年度兵庫県芸術奨励賞受賞。2003年、主役を演じた関西歌劇団公演(日伊合同制作)オペラ「アドリアーナ・ルクヴール」が、文化庁芸術祭「優秀賞」を受賞。

現在、神戸親和女子大学教授。関西歌劇団正団員。神戸アーバンオペラハウス実行委員。兵庫県音楽活動推進会議会員。神戸音楽家協会会員。宝塚演奏家連盟会員。

●メゾソプラノ 向井順子

Ms

大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業。オペラでは「カルメン」のカルメン、「コシ・ファン・トゥッテ」のドラベラ、「魔笛」の侍女、「おこんじょうり」のばばさまを演じる。また、'94年4月、姫路城世界文化遺産記念行事の創作オペラ「おなつせいじゅうろう」では、台所女・玉と歌比丘尼として出演。

その他、各地で第九やオラトリオのソリストを務め、数多くの合唱団、オーケストラと共演。

'98年10月には姫路市文化センターにおいてリサイタルを開催。'94年、姫路文化団体連合協議会、黒川録朗賞受賞。2007年、姫路市芸術年度賞受賞。

現在、日本演奏連盟、関西二期会、姫路オペラ協会所属。姫路日ノ本短期大学講師。

●バリトン 井上敏典

B

大阪音楽大学、同大学院修了。1983年オペラ「夕鶴」の運ず役、関西歌劇団入団後オペラ「賢い女」王様役にてデビューの後、多数のオペラに主役として出演。バッハ、ヘンデル、モーツァルト、シューベルト、フォーレ、デュルフレ他の宗教曲やベートーヴェン「第9」等のソリストとしても活躍。各地のオーケストラとも共演の他、日本歌曲やドイツ歌曲のリサイタルでも、テキストと音声の探求と表現、豊かな声質に高い評価を得る。

1983年なにわ芸術祭新人賞。1984年新人音楽コンクール大賞・文部大臣奨励賞。1985年姫路文連黒川録朗賞。1986年姫路市文化賞芸術年度賞。1993年兵庫県新進芸術家奨励賞。1995年大阪文化祭奨励賞を受賞。1993年度文化庁芸術家在外研修員としてケルン国立音大(ドイツ)へ留学。廣岡隆正、横井輝男、アレキサンダー・コロ、ハンス・ゾーティンの各氏に師事。

現在、関西歌劇団副理事長、日本演奏連盟会員、同志社女子大学音楽科教授、しらすぎ音楽学院院長。